

# Service Logistics Cloudの使用

## 目次



タイトルおよびコピーライト情報

はじめに

- 1 概要
- 2 サービス部品要件の管理
- 3 部品の受入
- 4 トランク在庫の管理

## 目次



- タイトルおよびコピーライト情報
- はじめに
- 1 概要
  - Oracle Service Logistics Cloud: 概要
  - サービス・ロジスティクスの設定: 概要
  - Engagement Cloudおよび他のサプライ・チェーン管理クラウド・アプリケーションとの依存関係および相互作用: 概要
- 2 サービス部品要件の管理
  - サービス部品の調達およびオーダー: 説明
  - 顧客交換可能部品のオーダー: 手順
  - 部品の返品を開始: 手順
  - 技術者交換可能部品のオーダー: 手順
  - 要求された部品を使用できない場合の処理
  - バックオーダー: 説明
  - 販売オーダーの取消: 手順
  - 転送オーダーの取消: 手順
- 3 部品の受入
  - 部品の受入: 概要
  - 技術者のトランク在庫への部品の受入: 手順
- 4 トランク在庫の管理
  - トランク在庫の管理: 概要
  - 別の在庫事業所への部品の転送: 手順





[About Oracle](#) | [Contact Us](#) | [Legal Notices](#) | [Terms of Use](#) | [Your Privacy Rights](#) |  
Copyright © 2011, 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

# Service Logistics Cloudの使用

## Contents



Title and Copyright Information

Preface

- 1 Overview
- 2 Managing Service Part Requirements
- 3 Receiving Parts
- 4 Managing Trunk Stock



# Oracle Service Logistics Cloud

## Service Logistics Cloudの使用

19A

部品番号F17249-01

Copyright c 2011-2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

原著者: Swati Mohanty

このソフトウェアおよび関連ドキュメントの使用と開示は、ライセンス契約の制約条件に従うものとし、知的財産に関する法律により保護されています。ライセンス契約で明示的に許諾されている場合もしくは法律によって認められている場合を除き、形式、手段に関係なく、いかなる部分も使用、複写、複製、翻訳、放送、修正、ライセンス供与、送信、配布、発表、実行、公開または表示することはできません。このソフトウェアのリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルは互換性のために法律によって規定されている場合を除き、禁止されています。

ここに記載された情報は予告なしに変更される場合があります。また、誤りが無いことの保証はいたしかねます。誤りを見つけた場合は、オラクルまでご連絡ください。

このソフトウェアまたは関連ドキュメントを、米国政府機関もしくは米国政府機関に代わってこのソフトウェアまたは関連ドキュメントをライセンスされた者に提供する場合は、次の通知が適用されます。

**U.S. GOVERNMENT END USERS:** Oracle programs, including any operating system, integrated software, any programs installed on the hardware, and/or documentation, delivered to U.S. Government end users are "commercial computer software"

pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, use, duplication, disclosure, modification, and adaptation of the programs, including any operating system, integrated software, any programs installed on the hardware, and/or documentation, shall be subject to license terms and license restrictions applicable to the programs. No other rights are granted to the U.S. Government.

このソフトウェアまたはハードウェアは様々な情報管理アプリケーションでの一般的な使用のために開発されたものです。このソフトウェアまたはハードウェアは、危険が伴うアプリケーション(人的傷害を発生させる可能性があるアプリケーションを含む)への用途を目的として開発されていません。このソフトウェアまたはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用する場合、安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性(redundancy)、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。このソフトウェアまたはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用したこと起因して損害が発生しても、Oracle Corporationおよびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

OracleおよびJavaはオラクルおよびその関連会社の登録商標です。その他の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

Intel、Intel Xeonは、Intel Corporationの商標または登録商標です。すべてのSPARCの商標はライセンスをもとに使用し、SPARC International, Inc.の商標または登録商標です。AMD、Opteron、AMDロゴ、AMD Opteronロゴは、Advanced Micro Devices, Inc.の商標または登録商標です。UNIXは、The Open Groupの登録商標です。

このソフトウェアまたはハードウェア、そしてドキュメントは、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセス、あるいはそれらに関する情報を提供することがあります。適用されるお客様とOracle Corporationとの間の契約に別段の定めがある場合を除いて、Oracle Corporationおよびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスに関して一切の責任を負わず、いかなる保証もいたしません。適用されるお客様とOracle Corporationとの間の契約に定めがある場合を除いて、Oracle Corporationおよびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセスまたは使用によって損失、費用、あるいは損害が発生しても一切の責任を負いかねます。

このドキュメントで使用されている事業所名は架空のものであり、現在または過去に実在する実際の会社を特定するためのものではありません。



# Service Logistics Cloudの使用

## Contents



Title and Copyright Information

Preface

- 1 Overview
- 2 Managing Service Part Requirements
- 3 Receiving Parts
- 4 Managing Trunk Stock



## はじめに

ここでは、アプリケーションを使用する際に役立つ情報ソースについて説明します。

## Oracle Applicationsの使用

### アプリケーション・ヘルプの使用

ヘルプ・アイコン  を使用すると、アプリケーションのヘルプにアクセスできます。ページにヘルプ・アイコンが表示されていない場合は、グローバル・ヘッダーにある自分のユーザー・イメージまたは名前をクリックして「ヘルプ・アイコンの表示」を選択します。ヘルプ・アイコンがないページもあります。[Oracle Applicationsヘルプ](#)にアクセスすることもできます。

-  **ビデオを見る:** このビデオ・チュートリアルでは、ヘルプの検索方法とヘルプ機能の使用方法について説明しています。

アプリケーション・ヘルプの使用も参照してください。

## その他のリソース

- コミュニティ: [Oracle Cloud Customer Connect](#)を使用すると、オラクル社のエキスパート、パートナ・コミュニティおよびその他のユーザーから情報を得ることができます。
- ガイドおよびビデオ: [Oracle Help Center](#)にアクセスしてガイドおよびビデオを参照できます。
- トレーニング: [Oracle University](#)が提供するOracle Cloudのコースをご利用ください。

## 表記規則

このガイドで使用されるテキスト表記規則を次の表に示します。

規則	意味
太字	太字は、ユーザー・インタフェース要素、ナビゲータ・パス、または入力する値や選択する値を示します。
固定幅フォント	固定幅フォントは、ファイル名、フォルダ名、ディレクトリ名、コードの例、コマンドおよびURLを示します。
→	右矢印記号は、ナビゲータ・パスの要素を区切ります。

## ドキュメントのアクセシビリティについて

オラクルのアクセシビリティについての詳細情報は、[Oracle Accessibility Program](#)のWebサイトを参照してください。

このガイドに含まれるビデオは、このガイドで使用可能なテキストベースのヘルプ・トピックの代替メディアとして提供するものです。

## オラクル社へのお問合せ

### Oracle Supportへのアクセス

サポートをご契約のお客様には、[My Oracle Support](#)を通して電子支援サービスを提供しています。詳細情報は[My Oracle Support](#)か、聴覚に障害のあるお客様は[Oracle Support](#)のアクセシビリティを参照してください。

### ご意見およびご提案

Oracle Applicationsヘルプやガイドに関するフィードバックをお寄せください。[oracle\\_fusion\\_applications\\_help\\_ww\\_grp@oracle.com](mailto:oracle_fusion_applications_help_ww_grp@oracle.com)宛に電子メールをお送りください。





[About Oracle](#) | [Contact Us](#) | [Legal Notices](#) | [Terms of Use](#) | [Your Privacy Rights](#) |  
Copyright © 2011, 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

# Service Logistics Cloudの使用

## Contents



Title and Copyright Information

Preface

### ☐ 1 Overview

Oracle Service Logistics Cloud: Overview

Setting Up Service Logistics: Overview

Dependencies and Interactions With Engagement Cloud and Other Supply Chain Management Cloud Applications: Overview

### ☐ 2 Managing Service Part Requirements

### ☐ 3 Receiving Parts

### ☐ 4 Managing Trunk Stock



## 1 概要

この章の内容は次のとおりです。

- Oracle Service Logistics Cloud: 概要
- サービス・ロジスティクスの設定: 概要
- Engagement Cloudおよび他のサプライ・チェーン管理クラウド・アプリケーションとの依存関係および相互作用: 概要

## Oracle Service Logistics Cloud: 概要

Oracle Supply Chain Management Cloudのオフリングの下にあるクラウド・ソリューションであるOracle Service Logisticsでは、ユーザーは、サービス要求およびフィールド・サービスの発送フローをサプライ・チェーンに接続するビジネス・プロセスを実行できます。サービス・ロジスティクスを使用すると、次を実行できます。

サービス要求の完了または作業オーダーの実行に必要な部品を調達およびオーダーします。

- フィールド・サービス技術者に出荷された部品を受け入れます。
- フィールド・サービス技術者に割り当てられた「使用可能」および「障害品」の保管場所の様々な部品の在庫レベルを分析します。
- 部品を技術者の在庫事業所に転送するか、「障害品」と「未使用」部品を中央または地域の倉庫に返品します。

## サービス・ロジスティクスの設定: 概要

サービス・ロジスティクスを設定するには、次の設定タスクを完了する必要があります。

1. サービス・ロジスティクス・ユーザーを設定します。
2. フィールド・サービス在庫事業所を設定します。
3. フィールド・サービス技術者に在庫事業所を割り当てます。各技術者には、少なくとも1つの「使用可能」在庫事業所および1つの「障害品」在庫事業所が割り当てられている必要があります。
4. 顧客への部品の出荷、およびサービス要求の部品要件に対する返品明細の作成のためのサービス・アクティビティ・コードを設定します。請求タイプをこれらのサービス・アクティビティ・コードに関連付け、販売オーダーを作成してサービス要求を完了するときに選択可能な品目をフィルタします。
5. サービス・アクティビティ・コードにより参照されるサービス・ロジスティクス参照を管理します。
6. サービス・ロジスティクス・プロファイル・オプションのデフォルト値を設定します。これらの値は、転送オーダーおよび販売オーダーの作成プロセスで使用されます。

サービス・ロジスティクスの設定の詳細は、**Service Logistics Cloud**実装スタート・ガイドを参照してください。

サービス・ロジスティクスのクラウド・ユーザーは、拡張フィールド・サービスおよびモバイル・フィールド・サービス機能のために**Field Service Cloud**と統合することもできます。この統合によって、フィールド・サービス技術者、その在庫事業所、および対応する在庫残高が**Oracle Field Service Cloud**と同期されます。この統合の設定の詳細は、**Field Service Cloud**による**Service Logistics Cloud**の統合ガイドを参照してください。

サービス・ロジスティクスが適切に機能するには、機能が**Engagement Cloud**およびその他のサプライ・チェーン管理クラウド製品でも使用可能になっているか、設定されている必要があります。次の項では、依存関係の概要について説明します。

## Engagement Cloudおよび他のサプライ・チェーン管理クラウド・アプリケーションとの依存関係および相互作用: 概要

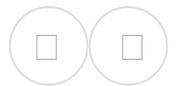
**Oracle Service Logistics Cloud**では、次のサプライ・チェーン管理クラウド・アプリケーションが参照されます。

- **Global Order Promising Cloud**。これによって部品を検索し、出荷方法/運送業者を決定し、到着日を計算します。

- サービス部品価格表および価格設定戦略のための価格設定クラウド
- **Order Management Cloud**。これによって部品の出荷と請求を行い、オーダー・オーケストレーション・プロセスを決定します
- **Product Management Cloud**。これによって品目マスターおよび在庫ソースを設定します
- 転送オーダーの作成、返品を受入および部品の追跡のための在庫。サービス・ロジスティクスを使用する前に、サービスのサプライ・チェーンの在庫組織および保管場所も設定する必要があります。

サービス・ロジスティクス・ユーザーは、「**Engagement Cloud**サービス要求」および「作業オーダー」ページの「部品詳細」タブを使用すると、サービス部品をオーダーおよび返品できます。サービス・ロジスティクス・ユーザーには、**Engagement Cloud**ユーザー・インターフェースで部品オーダーを作成するために必要なロールおよび権限がある必要があります。この機能は、サービス・オフアリングで使用可能にする必要があります。

**Engagement Cloud**およびデータを他の**SCM**クラウド・アプリケーションで設定する手順については、**Service Logistics Cloud**実装スタート・ガイドを参照してください。



[About Oracle](#) | [Contact Us](#) | [Legal Notices](#) | [Terms of Use](#) | [Your Privacy Rights](#) |  
Copyright © 2011, 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

# Service Logistics Cloudの使用

## Contents



Title and Copyright Information

Preface

☐ 1 Overview

☐ 2 Managing Service Part Requirements

Source and Order Service Parts: Explained

Ordering Customer Replaceable Parts: Procedure

Initiating Part Returns: Procedure

Ordering Technician Replaceable Parts: Procedure

What happens if a part requested is not available?

Backorders: Explained

Canceling Sales Order: Procedure

Canceling Transfer Orders: Procedure

☐ 3 Receiving Parts

☐ 4 Managing Trunk Stock



## 2 サービス部品要件の管理

この章の内容は次のとおりです。

- サービス部品の調達およびオーダー: 説明
- 顧客交換可能部品のオーダー: 手順
- 部品の返品を開始: 手順
- 技術者交換可能部品のオーダー: 手順
- 要求された部品を使用できない場合の処理
- バックオーダー: 説明
- 販売オーダーの取消: 手順

- 転送オーダーの取消: 手順

## サービス部品の調達およびオーダー: 説明

サービス・エージェントはサービス・ロジスティクスを使用して次のことを実行できます。

- 顧客交換可能サービス部品および消耗品の販売オーダーを作成します。
- 顧客から返品された「障害品」部品に対して返品承認を作成します。
- サービス要求に対して作業オーダーが作成されたときに、フィールド・サービス技術者が取り付ける必要がある部品の転送オーダーを作成します。
- 使用できない部品のバックオーダーを作成します。

サービス・エージェントは、「Engagement Cloudサービス要求」および「作業オーダー」ページの「部品詳細」タブを使用すると、サービス部品の調達およびオーダーできます。

## 顧客交換可能部品のオーダー: 手順

顧客が取付けおよび交換できる部品の販売オーダーを作成するには、次の手順を実行します。

1. 「ナビゲータ」ページから「サービス要求」メニューを選択します。「サービス要求」リスト・ページで、部品要件を追加するサービス要求を作成または選択します。
2. 「サービス要求の編集」ページで、「部品詳細」タブをクリックします。
3. 「追加」アイコン(プラス・アイコン)をクリックし、「部品の追加」ページにアクセスします。
4. 「部品の追加」ページで、次の操作を実行して、顧客に出荷する必要があるサービス部品を追加します。
  - a. 「サービス・アクティビティ」の値リストからサービス・アクティビティを選択します。サービス・アクティビティ・コードによって、部品オーダー明細か返品明細かが決まります。
  - b. 品目を選択します。
  - c. 数量と希望入手日を入力します。
  - d. 顧客の住所を選択します。
5. 「追加」をクリックします。
6. 「部品詳細」ページで、「オーダー」をクリックします。販売オーダーが作成されます。
7. 「オーダー番号」をクリックして、販売オーダー詳細を表示します。
8. 品目をクリックして、ソース倉庫および出荷詳細を表示します。

次の点に注意してください。

- 顧客に請求される金額は、出荷手数料と選択した品目の原価の合計です。品目の原価は、価格設定から導出されます。
- サービス・アクティビティは「サービス・アクティビティ」ページから導出されます。
- 品目は、「サービス・アクティビティ」ページのサービス・アクティビティおよび請求タイプの関連に基づいてフィルタされます。

- オーダー明細タイプはサービス・アクティビティに基づいて決定されます。
- 品目、出荷方法および到着日の可用性は、**Global Order Promising Cloud**から導出されます。
- 履行プロセス、部品出荷、受入および請求に対する販売オーダーの作成は、**Order Management Cloud**から導出されます。

部品が出荷されると、顧客に対して請求書が生成されます。オーダー履行のために、顧客の請求先アカウントと住所および出荷住所を設定する必要があります。

## 部品の返品を開始: 手順

顧客から返品された「障害品」部品に対して返品承認を作成するには、次の手順を実行します。

1. 「サービス要求」ページにナビゲートします。サービス要求を作成または編集して、顧客から返品された品目の詳細を取得します。
2. 「サービス要求の編集」ページで、「部品詳細」タブをクリックします。
3. 「追加」アイコン(プラス・アイコン)をクリックし、「部品の追加」ページにアクセスします。
4. 返品する品目を選択します。「サービス・アクティビティ」の値リストから適切なサービス・アクティビティを選択します。
5. 「搬送先組織」フィールドでは、デフォルトで「障害品」倉庫が選択されています。代替の「障害品」倉庫を選択して、返品された部品を受け取ることができます。
6. 「追加」をクリックします。
7. 「部品詳細」タブで、「オーダー」をクリックします。

返品承認(RMA)番号は、「障害品」部品の追跡および受入を行うために作成されます。金額列の負の値は、サービス要求で取得された返品明細を示します。倉庫で部品または品目が受け入れられると、クレジット請求書が作成され、顧客に送付されます。

**注意:** 同じサービス要求を使用して、交換部品をオーダーすることも、顧客から返品された「障害品」品目の詳細を取得することもできます。

## 技術者交換可能部品のオーダー: 手順

フィールド・サービス技術者によって返品された部品の転送オーダーを作成して作業オーダーを完了するには、次の手順を実行します。

1. 「ナビゲータ」ページから「サービス要求」メニューを選択します。新規サービス要求を作成するか、既存のサービス要求のリストから選択します。
2. 「サービス要求の編集」ページで、「作業オーダー」タブをクリックします。
3. 部品要件を作成する作業オーダーを作成または選択します。
4. 「作業オーダーの作成」ページまたは「作業オーダーの編集」ページで、「部品詳細」タブをクリックします。
5. 「追加」アイコン(プラス・アイコン)をクリックし、「部品の追加」ページにアクセスします。

6. 品目を選択し、数量、希望入手日および出荷住所を入力して、部品詳細を追加します。品目を出荷する、技術者の住所または顧客住所を選択できます。
7. 「追加」をクリックします。
8. 「部品詳細」ページで作業オーダーを保存します。

選択した品目に対して転送オーダーが作成されます。次の点に注意してください。

- サービス・ロジスティクスでは、**Global Order Promising Web**サービスを使用して、部品の可用性、到着日および出荷詳細が決定されます。
- 履行プロセスへの転送オーダー作成は、サプライ・チェーン・オーケストレーション・クラウドから提供される**Web**サービスを介して実行されます。

## 要求された部品が使用可能でない場合の処理

サービス要求または作業オーダーに対して要求された部品が使用可能でない場合は、バックオーダー済販売オーダーまたは転送オーダー明細が作成されます。オーダーは、在庫が使用可能になると処理されます。

## バックオーダー: 説明

サービス・ロジスティクスは、**Global Order Promising Cloud (GOP)**と連携して、販売オーダーまたは転送オーダーの作成時に部品の可用性を決定し、ソース倉庫または保管場所を返します。**Global Order Promising**は、次の条件の場合、ソース倉庫を返すことはできません。

- 組織に対してソース・ルールおよび**ATP**ルールが設定されていない
- 必要な品目の数量がソース倉庫で使用できない
- 要求品目を希望入手日より前に出荷できない

その後、販売オーダーまたは転送オーダーを作成するために、デフォルト・ソースを識別する必要があります。

顧客交換可能部品の場合、デフォルト・ソースを識別できない場合、バックオーダー済販売オーダー明細は、ソース、到着日または出荷方法なしで作成されます。

技術者交換可能部品の場合、**GOP**がソースを返さないと、アプリケーションは次の在庫ソース設定に基づいてデフォルトのソース倉庫を識別しようとします。

- 搬送先組織の保管場所の品目レベルで設定されたソース
- 搬送先組織の保管場所レベルで設定されたソース
- 搬送先組織の品目レベルで設定されたソース

ただし、デフォルトのソースが返された場合、到着日および出荷方法なしで転送オーダーが作成されます。ソースが返されない場合、転送オーダーは作成されません。

品目のデフォルト・ソースの設定の詳細は、**Service Logistics Cloud**実装スタート・ガイドを参照してください。

要求された部品または品目が使用可能な場合、バックオーダーが処理され、品目が顧客またはフィールド・サービス技術者に出荷されます。オーダー明細詳細が更新され、出荷方法と到着日が反映されます。

## 販売オーダーの取消: 手順

販売オーダーを取り消すには、次の手順を実行します。

1. 既存の販売オーダーがあるサービス要求を選択します。
2. 「サービス要求: 詳細」ページで、「部品詳細」タブをクリックし、サービス要求に追加された部品を表示します。
3. 「部品詳細」ページで、「削除」アイコン(クロス・アイコン)をクリックし、既存の部品要件明細に関連付けられている販売オーダーを取り消します。

オーダー管理Webサービスが呼び出され、オーダー履行を停止して販売オーダーを取り消します。販売オーダーを取り消すことができない場合、ユーザーにこれを通知するメッセージが表示されます。

## 転送オーダーの取消: 手順

転送オーダーを取り消すには、次の手順を実行します。

1. 部品要件明細を含む既存の作業オーダーがあるサービス要求を選択します。
2. 「サービス要求: 詳細」ページで、「作業オーダー」タブをクリックします。
3. 作業オーダーをクリックして、「作業オーダーの編集」ページにアクセスします。
4. 「作業オーダーの編集」ページで、「部品詳細」タブをクリックし、作業オーダーに追加された部品を表示します。
5. 「部品詳細」ページで、「削除」アイコン(クロス・アイコン)をクリックし、既存の部品要件明細に関連付けられている転送オーダーを取り消します。

サプライ・チェーン・オーケストレーションWebサービスが呼び出され、オーダー履行を停止して転送オーダーを取り消します。転送オーダーを取り消すことができない場合、ユーザーにこれを通知するメッセージが表示されず。



# Service Logistics Cloudの使用

## Contents



Title and Copyright Information

Preface

☐ 1 Overview

☐ 2 Managing Service Part Requirements

☐ 3 Receiving Parts

Receive Parts: Overview

Receiving Parts into Technician's Trunk Stock: Procedure

☐ 4 Managing Trunk Stock



## 3 部品の受入

この章の内容は次のとおりです。

- 部品の受入: 概要
- 技術者のトランク在庫への部品の受入: 手順

### 部品の受入: 概要

フィールド・サービス管理者は、特定の作業オーダーのためにフィールド・サービス技術者に出荷された部品の受入を使用するか、選択した技術者のトランク在庫を補充するためにこれを使用できます。出荷ごとに転送オーダーが作成されます。単一出荷または複数出荷を搬送先保管場所で受け入れることを選択できます。

### 技術者のトランク在庫への部品の受入: 手順

技術者のトランク在庫に部品を受け入れるには、次の手順を実行します。

1. 「部品の受入」ページで、フィールド・サービス技術者を選択します。選択した技術者には、その組織内のデフォルトの搬送先組織と使用可能な保管場所が表示されます。

**注意:** デフォルトの搬送先組織および使用可能な保管場所は、「フィールド・サービス技術者の管理」ページの技術者設定から導出されます。詳細は、後述の在庫事業所の技術者への割当リンクを参照してください。

2. 転送オーダー番号または出荷番号を使用して、特定のインバウンド転送オーダーを検索します。選択した技術者のすべての転送オーダーのリストを表示する場合、これらのパラメータを入力しないで検索します。
3. 受け入れる品目の数量を入力します。出荷全体または出荷の一部を受け入れることができます。
4. 部品を技術者のデフォルトの保管場所で受け取らない場合は、代替搬送先保管場所を選択します。
5. 「選択済み明細の受入」をクリックします。
6. 「トランク在庫の管理」ページにナビゲートすると、受け入れた部品の手持数量を確認できます。

## 関連項目

- [在庫事業所の技術者への割当: 手順](#)
- [技術者交換可能部品のオーダー: 手順](#)
- [顧客交換可能部品のオーダー: 手順](#)



# Service Logistics Cloudの使用

## Contents



Title and Copyright Information

Preface

- ☐ 1 Overview
- ☐ 2 Managing Service Part Requirements
- ☐ 3 Receiving Parts
- ☐ 4 Managing Trunk Stock

Manage Trunk Stock: Overview

Transferring Parts to Another Stocking Location: Procedure



## 4 トランク在庫の管理

この章の内容は次のとおりです。

- トランク在庫の管理: 概要
- 別の在庫事業所への部品の転送: 手順

### トランク在庫の管理: 概要

フィールド・サービス管理者は「トランク在庫の管理」ページを使用すると、選択した技術者の「使用可能」および「障害品」の在庫事業所にある様々な品目の可用性および在庫レベルをチェックできます。

各品目について、ページには、手持数量、有効数量、予約済数量およびすべての品目のシリアル番号が表示されます。「トランク在庫の管理」ページには、各品目の最小および最大の推奨在庫レベル、および特定の品目が超過または不足であるかどうかも表示されます。

部品を別の技術者のトランク在庫に転送できるだけでなく、「障害品」部品および「未使用」部品を中央または地域の倉庫に返品することもできます。

**注意:** 在庫事業所は、「在庫事業所の管理」ページを使用して設定します。少なくとも1つの「使用可能」および「障害品」の在庫事業所が、「フィールド・サービス技術者の管理」ページを使用して各フィールド・サービス技術者に割り当てられます。

## 関連項目

- [在庫事業所: 概要](#)
- [フィールド・サービス技術者の管理: 概要](#)

# 別の在庫事業所への部品の転送: 手順

部品を別の在庫事業所に転送するには、次の手順を実行します。

1. 「トランク在庫の管理」ページで、次の検索パラメータを使用して、転送する品目または部品を検索します。
  - 技術者を選択します。
  - 在庫組織を選択します。
  - 「障害品」または「使用可能」の保管場所を選択します。
2. 「品目」値リストから品目を選択します。必要に応じて、「検索」をクリックして、選択した在庫事業所にあるすべての品目のリストを表示します。
3. 「転送」をクリックします。
4. 「部品の転送」ページで、技術者、組織および保管場所の値リストを使用して宛先の在庫事業所を選択します。選択可能な組織のリストは選択した技術者に基づいてフィルタされ、使用可能な保管場所は選択した組織によって異なることに注意してください。
5. シリアル管理品目の場合、品目のシリアル番号を選択します。シリアル管理されていない品目の場合、数量を入力する必要があります。
6. 「転送」をクリックして、部品転送を開始します。

